

西市民病院再整備について

1. 経緯

「新西市民病院整備基本方針（令和 3 年 8 月策定）」、「新西市民病院整備基本構想（令和 3 年 11 月策定）」等を踏まえ、この度「新西市民病院整備基本計画（案）」を策定し、12 月 1 日から令和 5 年 1 月 10 日にかけて広く市民意見を募集している。

2. 新西市民病院整備基本計画案の概要

(1) 新病院の機能・整備基本方針（概要）

- ① より高度な水準の 2 次救急、脳血管疾患・心血管疾患への対応強化により、地域医療機関との連携のもと中等症救急搬送について市街地西部内で完結させる
- ② 第二種感染症指定医療機関と同程度の機能・体制を確保する
- ③ 地震に強い免震構造を導入、若松公園との一体的な活用による地域の災害対応機能を強化する
- ④ 災害時など非常時における神戸市全体の重層的なバックアップ機能（3 次救急を含む高度急性期医療や感染症医療、災害医療を補完）を担う
- ⑤ 市街地西部で対応できていない放射線治療機器の導入による地域におけるがん診療の拠点を目指す
- ⑥ 多様化する医療ニーズに応えるために個室を充実させる
- ⑦ 市街地西部で唯一の小児・周産期病院として安心して出産できる医療体制を構築するほか、病児保育室の運営など子育て環境の向上に寄与する
- ⑧ トレーニングラボの整備などによる教育・研修の拠点をを目指す
- ⑨ 病院内に雨天時でも子どもが遊べる交流スペースを整備する
- ⑩ AI や ICT の活用による患者の利便性向上、医療の業務効率化や医療従事者の働き方改革推進、国や神戸市が進める医療 DX の推進に柔軟に対応できるスマートホスピタルの実現を目指す
- ⑪ 医療情報の安全性を確保するため情報セキュリティ対策を強化する

(2) 施設整備計画

① 敷地概要

- ・ 若松公園北西部の一部（敷地面積 約 7,400 m²）

② 整備規模

	新病院	現病院
病床数	358 床（うち、HCU12 床・救急病床 12 床）	358 床（うち、HCU 7 床、救急病床 13 床）
延床面積※	約 39,000 m ² （1 床あたり面積約 100 m ² ）	約 24,600 m ² （1 床あたり面積 68.7 m ² ）
	（参考）1 床あたりの面積 中央市民：104.7 m ² 、西神戸：95.6 m ²	
駐車台数	200 台程度（患者・来院者・職員・業務用）	94 台（患者・来院者・職員・業務用）

(3) 整備スケジュール

令和 5 年度：基本設計 令和 6 年度～：実施設計・建築工事 令和 10 年度中開院

※新病院が開院するまでは現病院での運営を継続。

(4) 概算事業費

合計 340 億円

(5) 収支計画

開院 2 年目の単年度収支黒字を目指す。